

<p>・①の「海外体験振り返りシート」で、在外教育施設への派遣中の、最も印象的な出来事や大切だと考えたことの中から、5つの概念目標を選んでください。</p> <p>・5つの概念目標は、「知識」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」の3つの観点に、どれかは必ず入るように選んでください。最低3つの目標を選ぶことになります。</p> <p>・16の国際理解教育の目標以外に、自分が考える概念目標がある場合は、「その他」の欄にその目標を書いてください。</p> <p style="text-align: center;">◆「知識」 ①国際友好・平和 ②文化的多様性と共通性 ③相互依存 ④持続可能性 ⑤公共性 ⑥民主主義</p> <p style="text-align: center;">◆「思考力・判断力・表現力等」 ⑦偏見・差別・ステレオタイプを見抜く力（批判的思考力） ⑧コミュニケーション力 ⑨課題解決能力 ⑩想像力・創造力</p> <p style="text-align: center;">◆「学びにむかう力・人間性」 ⑪人権意識 ⑫寛容・共感・受容 ⑬協力・助け合い・支えあい ⑭誇り・自尊心 ⑮責任・行動・挑戦 ⑯グローバルな意識</p> <p style="text-align: center;">◆その他 (⑯) (⑰)</p>		
1 選んだ概念目標	1	(例) 文化的多様性と共通性
	2	(例) 批判的思考力
	3	(例) 誇り・自尊心
	4	(例) 寛容・共感・受容
	5	※多く選ばれた目標を上げました。
2 教師として、指導観・教育観は変わりましたか。もし、変わったとしたならば、帰国後どのように生かしていくこうと思いますか。		
3 あなたが選んだ概念目標を核にして、3つの国際理解教育の目標（ビッグアイデア）を創ってみよう ① _____ ② _____ ③ _____	例：①文化的な違いの根底には、国や地域を超えた人として共通する願いや思いがある。 ②多文化共生社会の鍵は、思い込み・ステレオタイプ・偏見などの誤った信念をただす批判的思考力である。 ③自らの文化に誇りを持ち、自らの自尊心を確立することが、異なる文化を受け入れ、共感する力を育てる。	

	派遣中に生まれた人的なネットワーク！（帰国後も、永遠に生かせる財産です。）
4	
	では、この3つの目標を、国内の学校でどのように指導していきますか。
	①
	②
5	
	③

☆全海研からの提案～派遣体験を一般化して、国内校で新たな取り組みを！！☆

在外教育施設に派遣され、海外で経験したことは、国内の学校環境とは全く異なります。派遣教員は、海外体験を「まるで夢のようだった」と表現します。体験談の賞味期限は1年、海外体験を国内で活用するには、国内の教員にも理解できるよう国際理解教育の目標から説明できるように再構成する必要があります。

変化の激しい時代を生き抜く子ども達には、

「何を学ぶか」だけでなく「どのように学び、何ができるようになるか」という学びが求められていますが、派遣教員の海外体験もまさに自分の体験を使って、国内の子ども達に何ができるかを考えなくてはなりません。思い出話のレベルから、国内校でできるグローバルな学びをどう創るかのきっかけとして、この二つのシートを試してください。

